

誰もが住みよい地域でいつまでも暮らし続けられる 社会づくりを皆さまと一緒にすすめます！

一人が二人、二人が三人とみんなの力を合わせていけば、このような思いをかなえることは決して難しいことではありません。

地域共生社会の実現に向けて、三田市内では様々な取り組みがすすめられています。

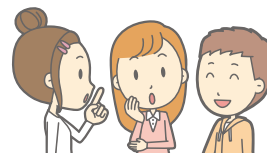
今月は、三田市社会福祉協議会が住民の皆さまとともに取り組む地域共生社会づくりについてご紹介します。

地域共生社会づくりをすすめるためのポイント

困ったときはみんなで解決、誰もが「我がこと」として話し合い！

誰もが安心して暮らせる地域にしていくためには高齢や障害、生きづらさなど個人では解決できない困りごとも、みんなが話し合い、支え合いの気持ちを持つことが大切です。

ちょっとした困りごとを抱えながら地域で暮らす方々について、地域住民、地域の各種団体、福祉専門職などが話し合うことで、地域でできる支え合い活動への発展や、新たなネットワークづくりに取り組みます。



「話し合う」からの取り組み & 「知る」からの取り組み …………… P3

「見る・聞く・知る」から「出会う・知り合う・学び合う」へ

「あの人が、同じことを繰り返したり、急に大きな声を出したり不思議な行動をしているなあ。なんであんな事をしているんだろう？ ちょっと気になるなあ。」



例えば、知的障害のある方の中にはその場の環境、状況により不思議な行動として見えることがあります。

しかし、障害の特性を正しく知ることでその行動の意味や理由を理解することができます。

そして実際に当事者と出会い、交流し、互いに知り合うことで地域共生社会の実現への大きな歩みとなります。



地域共生社会につながる福祉学習の取り組み …………… P4

「みんなが主役」のしかけづくり

認知症の方が店員を担うカフェや食堂がメディアなどで先進的な取り組みとして扱われるようになりました。

「受け手（利用者）になる方が、支え手に」「固定した役割ではなく、同じ一日で立場が入れ替わる」そんな場は、誰にとっても居心地がいいはず。

当会でもそんな場づくりに取り組んでいます。



受け手（サービス利用者）と支え手

みんなが主役に

「支え手」「受け手」から「みんなが主役」に …………… P5